

(様式3)

令和元年度 動物実験等に関する報告

西海区水産研究所

項 目	報 告 内 容
1 動物実験等の実施状況	
(1) 実施件数	4 件
(2) 使用動物種	アオウミガメ、アカウミガメ、タイマイ
(3) 関係研究課題数	1 課題(①②④は外部機関、③が当所課題)
(4) 実験課題	①定置網における海亀混獲防止技術の開発に関する研究 ②タイマイ第2世代の安定供給体制構築のための調査研究(ふ化率向上研究等) ③地磁気マップを用いた深海性生物の位置測位手法の開発と回遊生態研究への応用 ④海洋生物のポリカチオンコミュニケーション戦略の研究
2 点検・評価結果	
(1) 所内規程の制定	西海区水産研究所動物実験委員会規則(平成18年11月1日制定、最終改訂平成28年4月1日(一部改訂))
(2) 動物実験委員会の設置状況・構成	○構成 委員長: 亜熱帯研究センター長 委員: 沖縄県水産海洋技術センター石垣支所長(外部委員)、沿岸資源生態グループ長 事務局: 業務管理室長 ○開催実績 令和2年4月20日~27日(メール会議) (主な内容) 令和元年度動物実験記録書について 令和2年度動物実験計画書について
(3) 動物実験等の実施状況	適正な方法、設備で実施されているかを委員会で審査し、承認されている。実施結果については、研究所長へ報告されている。
(4) 教育訓練等の実施	令和元年度は動物実験勉強会(本部主催)が開催されなかったことから、「日本実験動物学会HP掲載の教育訓練用教材」および過年度の動物実験勉強会資料及びその参考資料をサイボウズに掲載し、その旨を所内に周知した。

(5) 実験動物の飼養等	動物実験記録書により、農林水産省基本指針、水産研究・教育機構動物実験規程を踏まえ、委員会において適正に実施されていることを確認した。
(6) 緊急時の対応	令和元年度の各実験において、緊急時の対応が必要となる事案は発生しなかった。
(7) 総合評価	水産研究・教育機構動物実験規程及び西海区水産研究所動物実験委員会規則に適合している。